

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

なぜ振袖を着るの？

どこの国にもその土地に育まれた民族衣装と言う物があります。日本人の民族衣装は着物です。

長い年月の間に着物も色々な変遷を過ぎて今の形になりました。そして女性が生まれてから各年代に合わせて未婚から既婚者となることによっても着物の形が変わって参ります。

三歳の頃の祝いで着、七歳の頃の祝いで着、そして十三参りの時の着物を経て十代が終わり二十歳になり、大人の仲間入りをする成人式を迎える時に振袖で成人式に臨むのが慣わしとされています。

節目節目に折々の着物を着、振袖はお嬢さんの時代（未婚の方）の正装であります。つまり民族衣装の位置づけとして、振袖は未婚女性の第一礼装に当たります。

振袖を着る意義、振袖を揃えてあげる意義と併せて考え理解してからご自分に相応しい振袖を選んで頂きたいのです。

これからの和とくポイント

振袖はお家の宝

もしご家庭にお母様やお祖母様の着た振袖が残っていて十分に着られそうであれば活用されてはいかがでしょう。

お母様やお祖母様の若かりしころの振袖や帯が成人式を迎える娘に着用できればこんなに良いことはありません。

取り出していろいろ問題があれば信頼出来る専門の方に相談して見ましょう。

決して古いと考えずその着物を誂えて下さった方がいらしたことを思いだして見て下さい。振袖は第一正装ですから「品」と「格」を持って、着物を着る方ご本人の自覚も必要ですね。

また、せっかくの素敵な振袖ですから、成人式後は箆笥の奥にしまったまま・・・では残念です。

若さを象徴する華やかな振袖は、着用できる期間に限りがある贅沢な装いです、もっと振袖をときめく活用術として、卒業式や謝恩会、結婚披露宴、婚礼などの様々なシーンで着こなしましょう。

ときめき活用術

- ❁ 成人式
- ❁ 卒業式
- ❁ 謝恩会
- ❁ 披露宴



今日もきもの気分

やしまからのお知らせ



ありがとう

❁ さくらきもの学院 ❁

12月13日にたくみの会&女子カアアップセミナーがあります。

今回は「暮らしの中の礼儀作法マナー」について講座があります。詳細については事務局までお問合せ下さい。



❁ きくちいまコラム ❁

もうすぐクリスマス！同性にプレゼントするのは大好きだけど、異性にプレゼントを選ぶのは苦手です。独身の頃はそれで苦労していました。手袋を編もうとして指が6本になっちゃったり、プレゼントを選ぶ自信がなくて他の人にセレクトを一任したこともありました。結婚してからは、専らビール。手抜きと言われようが確実に喜んでもらえるものにしていきます。でも、相手がきものが好きな男性だったら・・・ちょっと凝った根付けや、マグネットで簡単に着られるようになる羽織紐を贈りたいな。あ、そうか。わたし、きもの関係だったら贈り物選べるんだ！←新しい発見！



❁ 12月の催事・イベント ❁

◎女子カアアップセミナー

とき：13日（日）

◎ポーセラーツ教室

とき：17日（木）寺畑先生宅

◎月1キャンペーン

期間：5（土）～20（日）

※各詳細のお問い合わせはお店まで

By：お藤

